



山形県感染症発生動向調査

平成31年第9週(2月25日～3月3日)

山形県感染症情報センター(山形県衛生研究所)
 TEL.023-627-1109, FAX023-641-7486
 URL <http://www.eiken.yamagata.yamagata.jp/>
 2019年3月6日 発行

<定点把握感染症>

※表中の数値 上段:報告数 下段:定点当たり報告数

※定点当たり報告数が、▲:2週連続増加、△:今週増加、▼:2週連続減少、▽:今週減少

※◎:警報レベル

○:注意報レベル

疾患名	全国	山形県			村山地区			最上地区			置賜地区			庄内地区			累積(県) 第1~9週
	第8週	第8週	第9週	増減	第8週	第9週	増減	第8週	第9週	増減	第8週	第9週	増減	第8週	第9週	増減	
インフルエンザ定点 (定点医療機関数)		(47)			(20)			(4)			(10)			(13)			
インフルエンザ	44601 8.99	783 ◎16.66	558 ◎11.87	▼	351 ◎17.55	208 ◎10.40	▼	49 ◎12.25	52 ◎13.00	△	197 ◎19.70	159 ◎15.90	▼	186 ◎14.31	139 ◎10.69	▽	10667
小児科定点 (定点医療機関数)		(30)			(13)			(3)			(6)			(8)			
RSウイルス感染症	1395 0.44	13 0.43	2 0.07	▽	8 0.62		▽	1 0.33	1 0.33		4 0.67	1 0.17	▽				66
咽頭結膜熱	965 0.30	28 0.93	14 0.47	▽	18 1.38	9 0.69	▽				8 1.33	5 0.83	▼	2 0.25		▽	109
A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	8457 2.67	114 3.80	150 5.00	△	36 2.77	72 5.54	△	21 7.00	13 4.33	▼	51 ◎8.50	50 ◎8.33	▽	6 0.75	15 1.88	△	980
感染性胃腸炎	18999 5.99	243 8.10	305 10.17	▲	84 6.46	121 9.31	▲	9 3.00	12 4.00	△	108 ◎18.00	141 ◎23.50	▲	42 5.25	31 3.88	▽	1883
水痘	952 0.30	17 0.57	11 0.37	▽	4 0.31	4 0.31		1 0.33	1 0.33		8 ◎1.33	6 ◎1.00	▽	4 0.50		▽	128
手足口病	382 0.12	11 0.37	9 0.30	▽	6 0.46	2 0.15	▽	3 1.00	7 2.33	△	2 0.33		▽				53
伝染性紅斑	1887 0.59	52 ◎1.73	49 ◎1.63	▽	38 ◎2.92	33 ◎2.54	▽	5 ◎1.67	6 ◎2.00	▲	6 ◎1.00	5 0.83	▼	3 0.38	5 0.63	△	498
突発性発しん	1117 0.35	13 0.43	15 0.50	▲	3 0.23	6 0.46	▲	2 0.67	1 0.33	▽	6 1.00	3 0.50	▽	2 0.25	5 0.63	△	119
ヘルパンギーナ	41 0.01																11
流行性耳下腺炎	297 0.09		3 0.10	△		1 0.08	△		1 0.33	△		1 0.17	△				13
眼科定点 (定点医療機関数)		(8)			(4)			(1)			(1)			(2)			
急性出血性結膜炎	4 0.01																
流行性角結膜炎	374 0.54	4 0.50	1 0.13	▽	4 1.00	1 0.25	▽										47
基幹定点 (定点医療機関数)		(10)			(4)			(1)			(2)			(3)			
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	68 0.14	1 0.10	6 0.60	▲	1 0.25	4 1.00	▲					2 1.00	△				8
クラミジア肺炎	1 0.00																
マイコプラズマ肺炎	69 0.14		5 0.50	△		3 0.75	△								2 0.67	△	21
細菌性髄膜炎	9 0.02	1 0.10		▽										1 0.33		▽	2
無菌性髄膜炎	14 0.03																1

<全数把握感染症>

疾患名	類型	報告数				備考
		村山	最上	置賜	庄内	
結核	患者	3			1	
梅毒	患者	1				
百日咳	患者	5				ワクチン接種歴:4回 5人。小児 5人。

<通信欄>

※トピックスでインフルエンザ、伝染性紅斑について掲載しています。
 (インフルエンザの迅速キットによる型別、集団発生状況については2ページをご覧ください。)

※定点把握感染症のグラフ・全数把握感染症の年間累積数については別紙をご覧ください。
 ※ウイルス分離・検出状況については、衛生研究所のHPをご覧ください。

< 定点把握感染症 報告患者数 年齢別 >

インフルエンザ定点	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20～29歳	
インフルエンザ	1	11	26	10	30	36	42	41	41	42	35	122	20	11	
	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳～									合計
	18	24	16	13	7	12									558
小児科定点	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20歳～	合計
RSウイルス感染症			2												2
咽頭結膜熱		2	3		3	2	3	1							14
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎			4	11	14	21	15	21	16	28	6	12		2	150
感染性胃腸炎	1	12	33	27	26	41	40	30	12	13	12	39	3	16	305
水痘		1		2	3	2			1		1	1			11
手足口病		2	1		4					1		1			9
伝染性紅斑			4	7	4	5	10	7	4	5		3			49
突発性発しん		5	8	1								1			15
ヘルパンギーナ															
流行性耳下腺炎						1	2								3

< 平成31年1月 月報 >

2019年2月27日 発行

疾患名	山形県		村山地区		最上地区		置賜地区		庄内地区		累積(県) 1～1月
	12月	1月	12月	1月	12月	1月	12月	1月	12月	1月	
STD定点 (定点医療機関数)	(10)		(4)		(1)		(2)		(3)		
性器クラミジア感染症	報告数 16	10	7	8			3		6	2	10
	定点当り 1.60	1.00	1.75	2.00			1.50		2.00	0.67	
性器ヘルペスウイルス感染症	報告数 6	7	2	3	1		1	4	2		7
	定点当り 0.60	0.70	0.50	0.75	1.00		0.50	2.00	0.67		
尖圭コンジローマ	報告数 4	3	2	3			1		1		3
	定点当り 0.40	0.30	0.50	0.75			0.50		0.33		
淋菌感染症	報告数 1	3		2					1	1	3
	定点当り 0.10	0.30		0.50					0.33	0.33	
基幹定点 (定点医療機関数)	(10)		(4)		(1)		(2)		(3)		
ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	報告数 4	7		1					4	6	7
	定点当り 0.40	0.70		0.25					1.33	2.00	
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	報告数 22	19	9	13	1		2	13	3		19
	定点当り 2.20	1.90	2.25	3.25	1.00		1.00	4.33	1.00		
薬剤耐性緑膿菌感染症	報告数										
	定点当り										

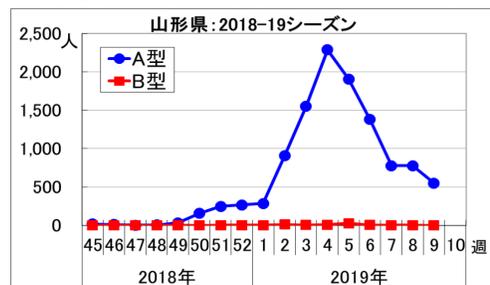
< トピックス >

インフルエンザ情報

第9週の県平均のインフルエンザ定点当たり報告数は11.87人で、前週より4.79人減少しました。しかし、依然として警報レベルとなっていますので、引き続き咳エチケットや手洗いなど予防対策に努めましょう。

- ・警報開始基準値:30人 警報終息基準値:10人 注意報基準値:10人
- ・第9週 定点当たり報告数 (山形県:11.87人)
- 村山:10.40人、最上:13.00人、置賜:15.90人、庄内:10.69人

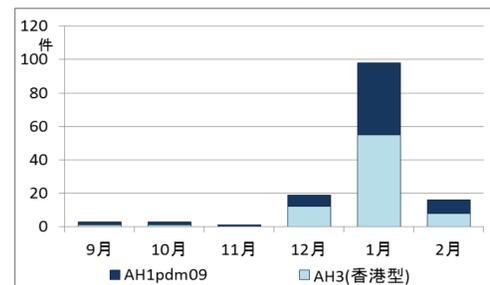
1 迅速診断キットによるインフルエンザウイルスの陽性件数(第9週)



	A型	B型
村山	204	0
最上	52	0
置賜	159	0
庄内	137	0
計	552	0

※型別不明:6件

2 インフルエンザウイルス検出状況(衛生研究所 2月27日現在)



ウイルス型	検出数
A型	
AH1pdm09	63
AH3(香港型)	77
B型	
B型(山形系統)	0
B型(ビクトリア系統)	0

※地区別のインフルエンザウイルス検出状況については、衛生研究所HPをご覧ください。

3 集団発生情報(山形県健康福祉企画課まとめ 第9週)

	村山	最上	置賜	庄内	合計	前週
幼稚園・保育所	4		1	2	7	3
小学校	5		2		7	17
中学校				2	2	3
高校					0	3
福祉施設				1	1	1
合計	9	0	3	5	17	27

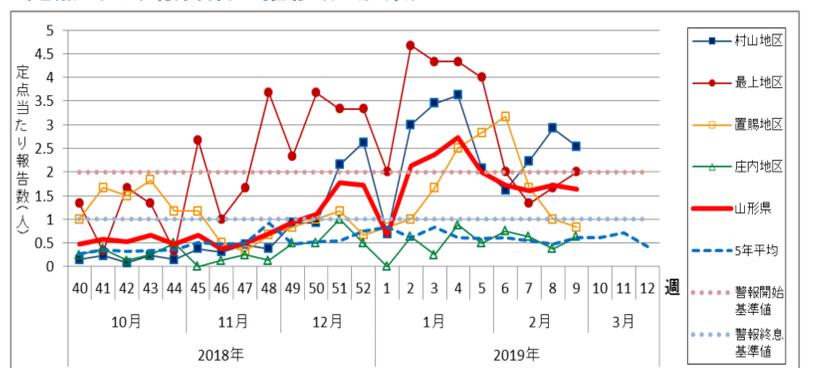
※数字は施設数(措置なしを含む)

伝染性紅斑(りんご病)情報

第9週の県平均の伝染性紅斑定点当たり報告数は1.63人で、8週連続で警報レベルとなっています。

- ・警報開始基準値:2人 警報終息基準値:1人
- ・第9週 定点当たり報告数(山形県:1.63人)
- 村山:2.54人、最上:2.00人、置賜:0.83人、庄内:0.63人

・定点当たり報告数の推移(山形県)



伝染性紅斑とは

伝染性紅斑は、ヒトパルボウイルスB19に感染することによっておこる感染症です。典型例では両頬がリンゴのように赤くなることから、「りんご病」とも呼ばれます。

《症状》10～20日の潜伏期の後、両頬に鮮明な赤い発疹が現れ、続いて手足にもレース様の発疹が現れます。なお、頬に発疹が現れる前に風邪の様な症状がみられ、この時期に感染力が最も強くなります。発疹が出て伝染性紅斑と診断された頃には、感染力はほぼなくなっています。予後は通常良好ですが、妊婦が感染した場合、胎児水腫や流産を起こすことがあるので注意が必要です。

《予防法》伝染性紅斑は、感染力のある時期には特徴的な症状を示さないため、日頃からの手洗い・うがいが重要です。

